

3年間を見通した年間指導計画作成 演習

テーマ 施設・設備、生徒の実態

メンバー	6班: 神崎(附属中)、山口(日見中)、椎葉(鹿町中)、木下(開隆堂)、堀川(有喜中)、宮川(神浦中)
------	---

学期	1学期												2学期												3学期						合計					
	4月			5月			6月			7月			9月			10月			11月			12月			1月		2月		3月							
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	35週
第1学年	内容	ガイダンス A(1)			情報通信ネットワークと情報モラル D(1)									生物育成 C(1)(2)						デジタル作品の設計・制作 D(2)			材料と加工 A(1)・A(2)						3 5 時間							
	題材例	○生活とものづくりの技術			○パソコン室の利用の仕方 ○情報処理のしくみ ○情報通信ネットワークの仕組み ○著作権・情報モラル									○目的とする生物の育成計画 ○生物の栽培又は飼育						○プレゼンテーション			○生活や産業の中で利用されている技術 ○材料と加工法													
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	35週
第2学年	内容	材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作 A(3)																								エネルギー変換機器の仕組みと保守点検 B(1)		3 5 時間								
	題材例	○設計 ○部品加工 ○組立て ○塗装 ○まとめ																								○理論的なものを考える										
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	35週
第3学年	内容	エネルギー変換に関する技術を利用した製作品の設計・製作 B(2)																	プログラムによる計測・制御 D(3)							3 5 時間										
	題材例	○エネルギー変換に関する製品の設計・製作 ○制御ができる製作品の製作(センサー……)																																		

【ポイント】

- 小規模校で、畑がない学校を対象に作成。
- 今日の生徒の実態を踏まえて、情報モラルを早い段階で取り組めるように考えた。
- 他教科及び総合的な学習の時間との関連を考えた。

新学習指導要領のモデルカリキュラム演習 グループ討議の進め方

- 1 流れ 年間指導計画作成のポイント【熊本先生】(15分) グループ討議の進め方【久保】(5分)
 グループ討議(70分) 休憩(10分) 発表(20分) 講評【熊本先生】(10分) 討議(30分)

2 討議内容

- ① 5人1組のグループを作る(事前にグループ分けを行っておく。各班の司会は運営委員が行う)

○事前に運営委員でグループ分けをしておく。

○各班の司会は運営委員が行う。発表者を1名決める。

- ② 記入例をもとに3年間の見通した年間指導計画を作成する。

○まず、内容の欄に新学習指導要領の内容を配置していく。

○ポイントの欄に、配慮した点や理由、利点・弊害などをまとめる。

○時間があれば、題材例の欄に具体的な題材を箇条書きで書く。

- 3 グループの内、5班を選出し、1班3分程度で発表を行った後、講評。

★★★ 記入例 ★★★

学期		1学期												2学期												3学期									合計		
		4月			5月			6月			7月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
週		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	35週
第1学年	内容	生活や産業の中の技術				情報通信ネットワークと情報モラル デジタル作品の設計・製作												プログラムによる計測・制御 D(3) 生物の生育環境と育成技術 C(1)									3 5 時間										
	題材例	A(1)				D(1)(2)												○プログラムによるロボットの制御 ○生育環境と生育技術 ○ミニトマトの養液栽培																			

【ポイント】

- 情報モラルの低下による携帯電話・インターネット利用におけるトラブルが近年増加しているため、第1学年前期に「D(1)情報通信ネットワークと情報モラル」を配置した。
- 総合的な学習の時間や他教科において学習発表の際、パワーポイントを使った発表ができるように第1学年前期に「D(2)デジタル作品の設計・製作」を配置した。
- 「C生物育成」を春をまたいで学習ができるように第1学年後期と第2学年前期に配置した。また、D(3)と平行して実施する。